

令和 7 年 9 月 19 日実施 サウンディング調査結果概要（ビッグルーフ滝沢）

1 指定管理者制度による施設運営について

- ・ 参入形態としては複数企業で、特に市内企業や団体との連携を重視したい。
- ・ 施設の機能ごとに専門的な視点を持てるよう、複数企業等での参入を予定。
- ・ 管理運営にあたっては、シルバー人材センターとの協働・連携も行いたい。
- ・ 施設運営を通じ、地域貢献につなげたい。
- ・ 指定管理期間は 10 年程度が適当と考える。ただし、5 年経過時に指定管理料の見直し協議を行う機会が必要と考える。
- ・ 希望する期間は 10 年程度。理由としては、サービス供給や人材確保の安定化等があげられる。
- ・ 期間は 5 年程度が妥当と考える。10 年だとすれば人材育成や雇用の面で有利な部分もあるが、競争性を考えると不利になる。

2 指定管理者の公募条件について

- ・ 準備期間は 6 か月程度欲しい。
- ・ 滝沢市民が指定管理者になることが産業経済の好循環のために必要。
- ・ 産業創造センター設備について、現状で対応年数が残っている機材は現状価格で引き受けることができることが望ましい。
- ・ 過去 5 年間の収支決算、事業報告、自主事業内容等をもらいたい。
- ・ 仕様や要件は極力限定的なものにしない方が良い。
- ・ 産業創造センターの厨房機器等について、スケルトンではなく残存の形が望ましい。スケルトンだと開業準備期間の長期化にもつながりうる。

3 施設整備について

- ・産業創造センターは市内農業者が6次産業化に挑戦できるように整備を行いたい。
- ・たきざわテラスについて、ビアガーデンその他のイベントに活用したい。
- ・SNSやWebサイトを充実させ、ターゲットに合わせた効果的な情報発信体制を整備したい。
- ・季節に合わせた施設内外の装飾を充実させた観光スポット化を目指す。
- ・施設利用者へのアンケートや懇談会を充実させ、ニーズの把握とサービス向上に努める。

4 維持管理費等コスト削減に関する提案等についてお聞かせください。

- ・市内業者を中心とした委託先選定によりコスト削減を図りたい。
- ・舞台操作について、滝沢ふるさと交流館との連携で経費削減を図りたい。
- ・一括発注など手法について工夫しコスト削減につなげたい。

5 市内事業者(関係団体等含む)の活用についての考えをお聞かせください。

- ・商工会、観光物産協会、農業団体及び市内産直施設との連携を進めたい。
- ・市内の大学や市民団体との連携を図る。
- ・産業振興については、市商工会や観光物産協会との連携も図る。

6 地域団体との連携に関する提案等について、お聞かせください。

- ・特に文化芸術やデジタル化推進の視点で、市内学校との連携を図る。
- ・自治会、消防団等地域団体との連携も図る。
- ・「市民活動コンシェルジュ」を配置し、団体や人材育成を図る。
- ・市内大学と連携した事業展開。
- ・地域農家や飲食事業者と連携した販促会等の実施。

7 【ビッグルーフ滝沢のみ】産業創造センターの売上増に関する提案についてお聞かせください。

- ・滝沢市観光物産協会と共に運営を行いたい。
- ・年末は12月31日まで営業することとしたい。
- ・隣接する予定の商業施設等との競合を念頭に、産直機能の強化を図る。具体的には手数料の見直しや6次産業化の加速による品目の拡充など。
- ・出前サービスやキッチンカー出店の実施。
- ・観光案内所にて特産品を販売。
- ・地元農家と連携した食イベントの開催。

8 自主事業に関するアイデアについてお聞かせください。

- ・貸館講座や教室を「ビッグルーフ滝沢大学」として一元化する。
- ・避難所機能の向上を念頭に置いた防災キャンプの開催。
- ・施設を活用したウェディング事業の実施。
- ・貸室以外のスペースを活用した事業（ロビースペースでのコンサートや読み聞かせ等）の実施。

9 その他事業実施全般に関して、貴社が考える提案、課題、問題点等について、ご教示ください。

- ・物価高や賃金上昇等、社会情勢の変動への対応が課題。
- ・地元事業者を優先的に委託先とできる仕組みが必要。
- ・利用料金の再検討が必要。
- ・部屋のみではなく、施設の回遊や滞留に関する取り組みが必要。
- ・民間企業の予約と市民活動の予約のバランスを取る仕組みが必要。
- ・市内企業を中心とした「オール滝沢」での管理運営を目指すことが望ましい。